

第4回産学官連携推進会議

「産学官連携における知的財産の積極活用分科会」

商社から見た産学官連携と知的財産の事業化

2005年6月25日(土)

三菱商事株式会社
会長 佐々木 幹夫

日本の産業界の変遷と環境変化

1960年代
～ 80年代

海外の優れた技術の輸入・応用・改良
世界的に競争力を持った製造業の発展
『Made-in-Japan』、『Japan as No. 1』

1990年代

失われた10年
高コスト構造、ASEAN・中国の台頭
日本の産業競争力の低下

2001年～

経済・企業活動のグローバル化、
日本の社会構造の変化
日本経済を取巻く国内外の環境変化の進展

日本の更なる経済成長と産業競争力の復活

新たな差異化・高付加価値化をもたらす
知的財産戦略の必要性

三菱商事の産学官連携への取組事例

東京工業大学:

- 同大保有の知的財産の事業化・マーケティングに係る提携

東京大学:

- 産学連携基本スキームの共同研究
- 同大との共同研究による半導体解析・検査サービス事業

大阪大学、京都大学、共立薬科大学、県立広島大学など:

- ナノテク分野の用途開発の共同研究

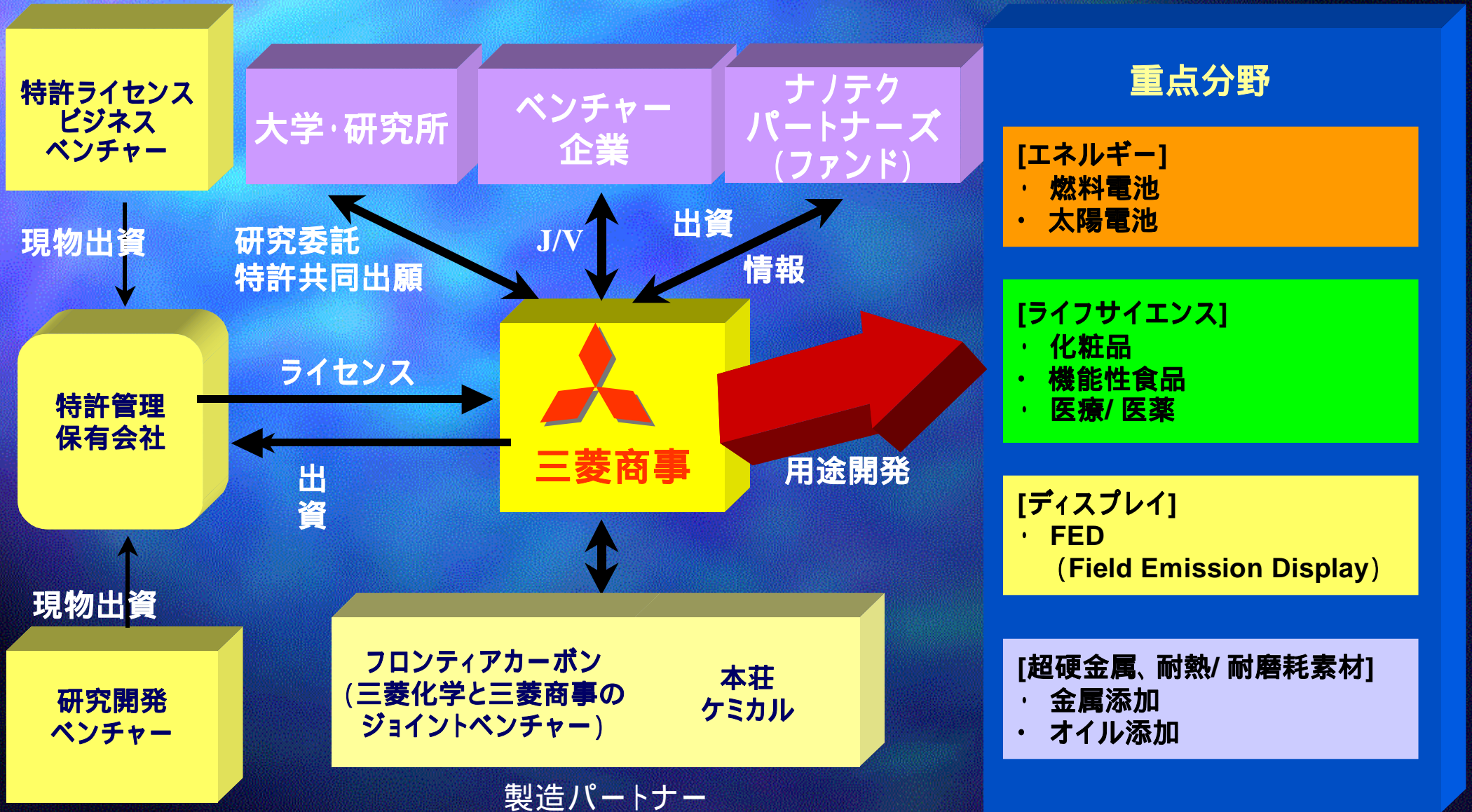
九州大学などの九州地区の大学:

- 地域の産学官連携や産業振興を踏まえた事業創造ファンド:
『九州ベンチャーパートナーズ』への参画

三菱商事のR&D+C戦略



ナノテク事業推進のフォーメーション



産学官連携による知的財産事業化のキーワード(1)

産・学・官の相互理解の更なる醸成

- 産学官連携の推進基盤をなす、各々の立場や期待、及び今後果たすべき・担うべき役割機能に関する相互理解の醸成

産学官連携強化における役割や期待

産(企業)への期待:

技術開発戦略の再定義とアライアンス戦略の促進

学(大学)への期待:

企業の経営環境やビジネスの実態への理解促進

継続的な知的財産やベンチャー創出の担い手としての
学内マネジメント改革や環境整備の促進

官(国や自治体)への期待:

技術や産業特性を踏まえた新産業創造ビジョン提示

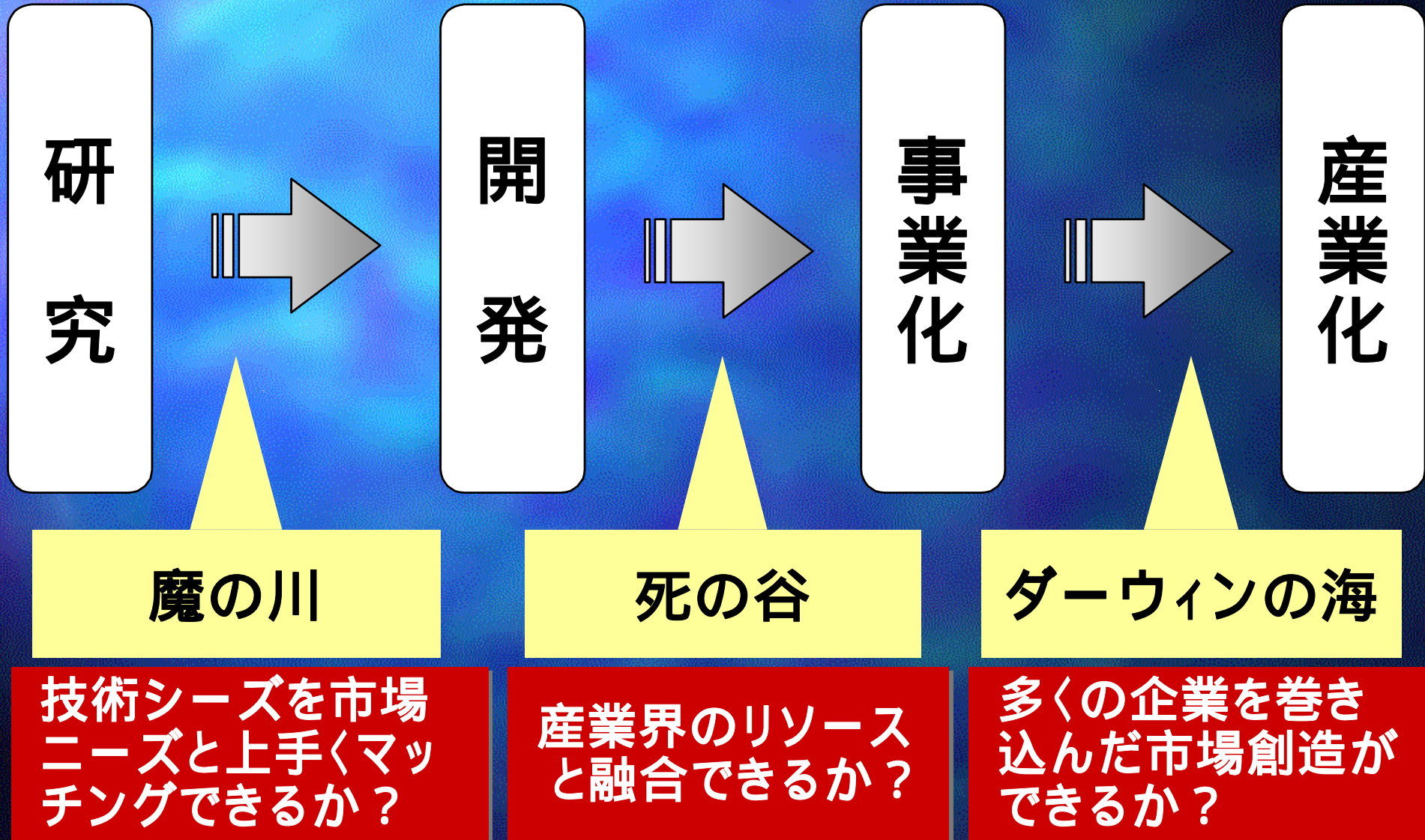
先端技術やベンチャーへの初期市場提供

産学官連携による知的財産事業化のキーワード(2)

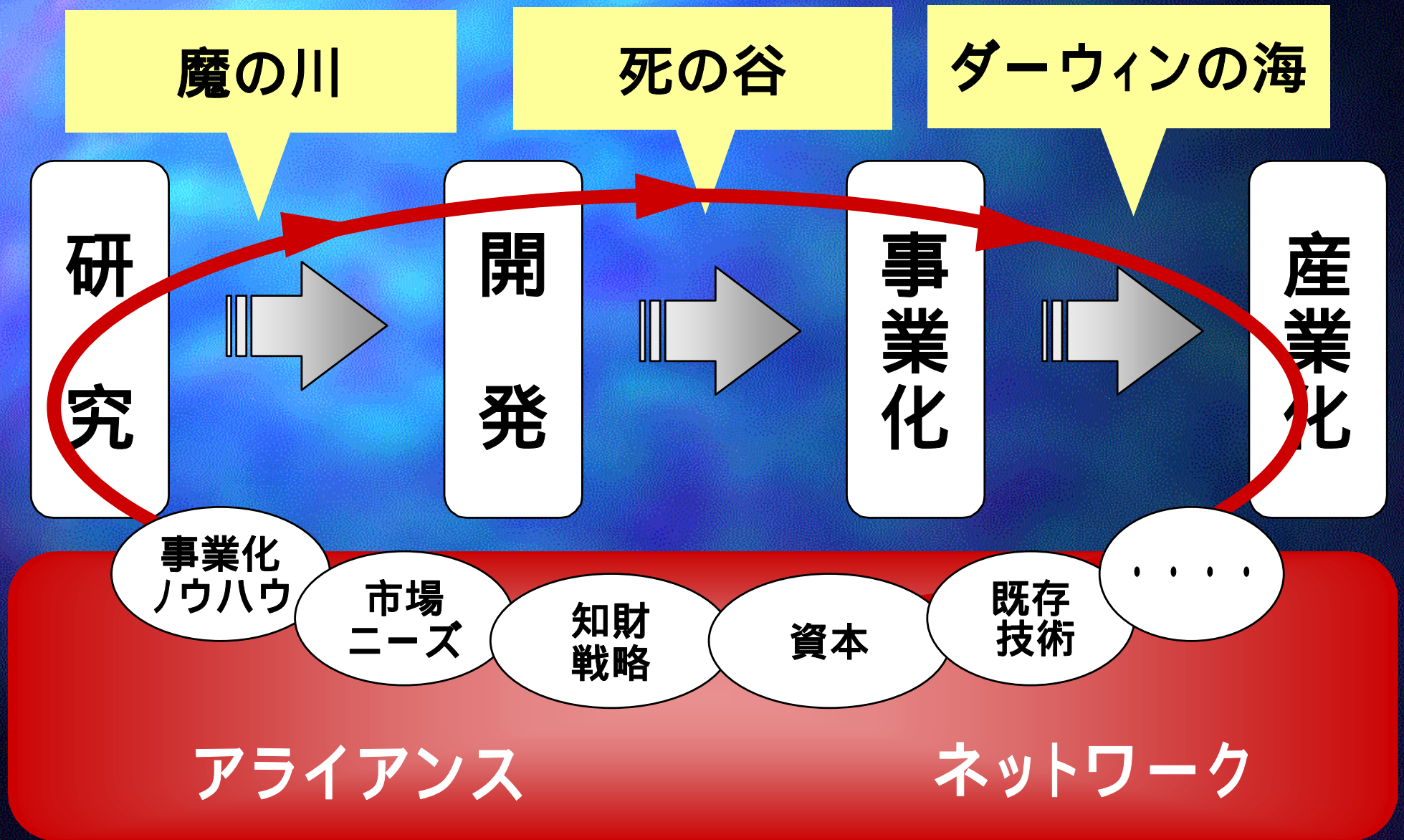
オープン・イノベーション

- 今までの自前主義から脱却し、将来の顧客や競合者等も含めたネットワークやアライアンスを構築の上、様々なリソースや経験則を共有する考え方

知的財産の事業化に関する課題



オープン・イノベーション

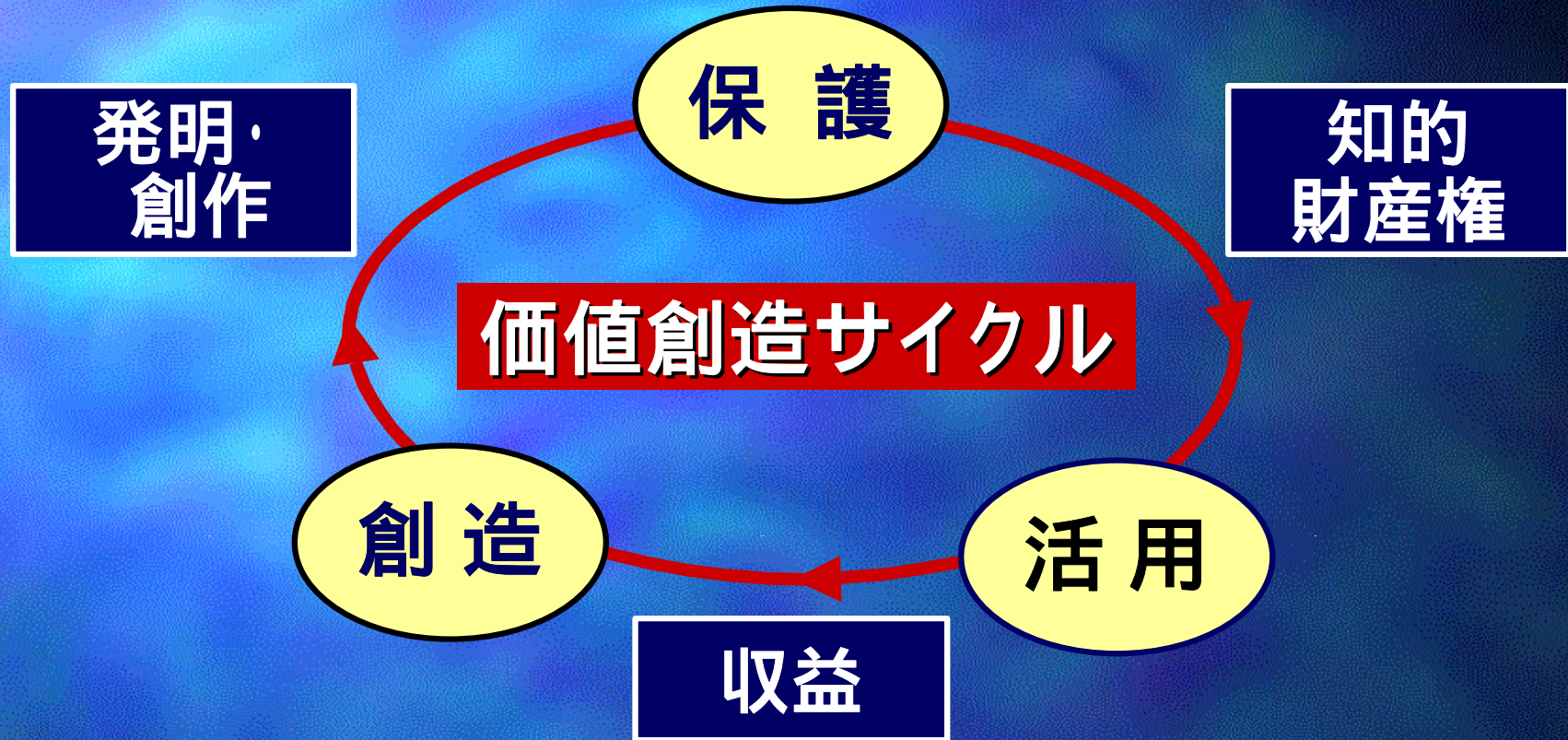


Peter F. Drucker “Managing in the Next Society”

「もはや、いかなる産業・企業にも独自の技術というものがあえなくなり、産業として必要な知識が、全く異質の技術から生まれる様になった。」

「事業の発展は、企業の内部からではなく、異質の組織間の提携という、50年前には考えられなかった事が当たり前になっている。」

知的財産の価値創造サイクル



オープン・イノベーション

産・学・官の相互理解の更なる醸成

産学官連携における商社の基本機能

『広範なネットワーク機能』

～ 様々な業界、市場、多岐にわたる顧客との接点～

『様々なリソースの発掘・融合機能』

～ 広範なネットワークを最大限活用し、知的財産の事業化に必要な様々なリソースを発掘し、融合～

『日本独自の新たな価値創造モデル』

先端分野の知的財産

- ✓ バイオテクノロジー
- ✓ ナノテクノロジー
- ✓ 次世代半導体
- ✓ ディスプレー技術
- ✓ LED技術

．．．

融合

日本固有の知の集積

- ✓ 量産化
- ✓ 小型化
- ✓ 意匠・デザイン力
- ✓ 商品企画力

．．．

メイド・イン・ジャパンの復権へ